

お知らせ

長良川河口堰では洪水を安全に流下させる ゲート全開操作をおこないました

1. 概要 長良川河口堰では、前線の影響による洪水を安全に流下させるため、6月13日（土）20時59分にゲートを全開にしました。その後、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、同日22時51分に全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。

翌々日15日（月）に前線の影響により長良川が増水に転じたことから、洪水を安全に流下させるため、15日3時19分に再びゲートを全開にしました。15日7時現在、全開操作を継続しています。



2. 状況 6月10日から15日にわたる降雨の影響から全開操作を行いました。

流域平均累計雨量	230mm（6月10日15時から15日7時現在）	
堰最大流入量	毎秒約820立方メートル （13日22時20分）	毎秒約1,600立方メートル （15日7時00分）
全開操作開始時刻	13日20時59分	15日3時19分
全開操作終了時刻	13日22時51分	全開操作継続中（15日7時現在）
全開操作継続時間	1時間52分	

※上記の流量は速報値であり、今後変更になることがあります。

今回の全開操作は、平成7年7月の河口堰運用開始以降170回目、171回目であり、本年においては2回目、3回目となります。なお、令和元年までの年間（1月～12月）の平均全開操作回数は約7回です。

また、運用開始以降最大の出水は、平成16年10月台風23号による洪水であり忠節地点毎秒7,667立方メートルの流量を観測しています（国土交通省水文水質データベースより）。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ（三重県）、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所

管理課長 川下（かわした） 電話0594-42-5012（代）

長良川河口堰のホームページはこちらを検索

HP

過去の
管理情報→



長良川河口堰
のゲート操作→





ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（1回目）

6月14日 6時撮影

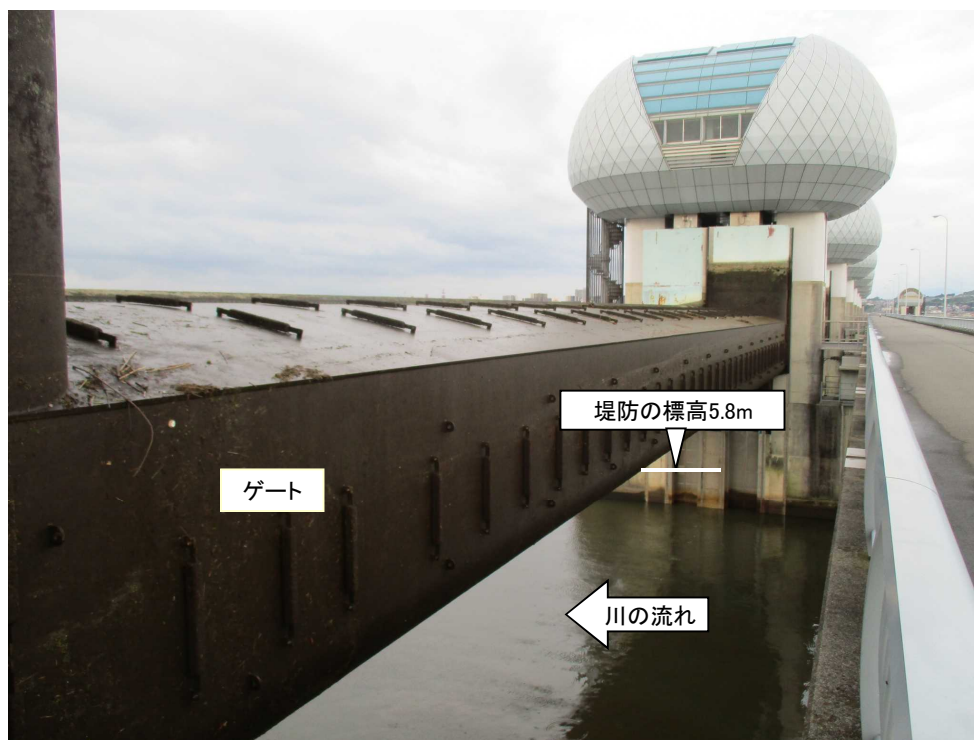


ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（1回目）

6月14日 6時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堰下流側）
（2回目） 6月15日 5時撮影

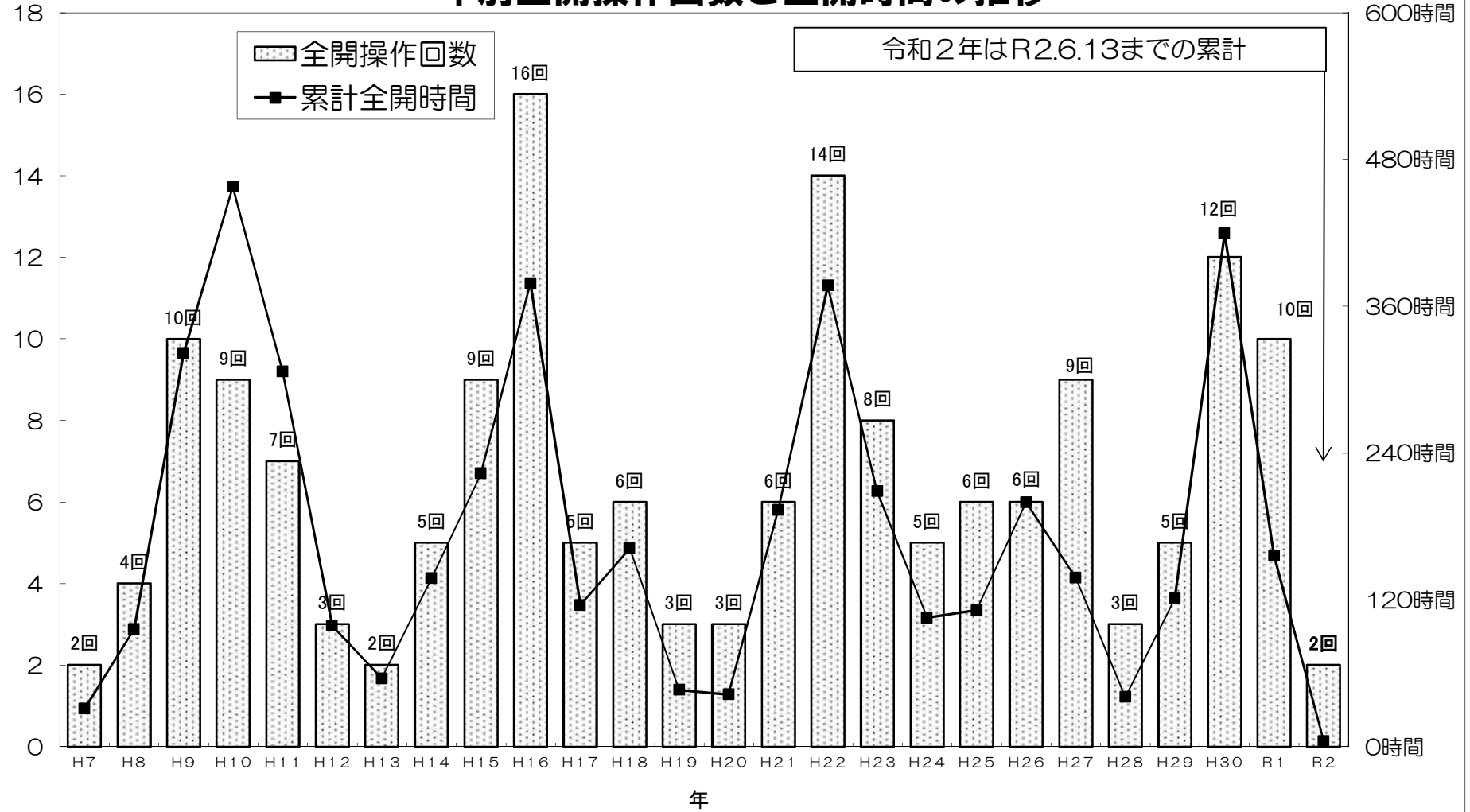


ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堤防より高い位置にゲートを引き上げ）
（2回目） 6月15日 5時撮影

長良川河口堰における管理移行後の 年別全開操作回数と全開時間の推移

【回数】

【全開時間】



※R2.6.13までの全開操作回数: **170回**

※累計全開時間:4548時間 24分

ゲート操作状況

オーバーフロー操作
上段扉を下げ
水をゲートの上から流す

アンダーフロー操作
下段扉を上げ
水をゲートの下から流す

ゲート操作状況

全開操作
ゲートを
堤防高より高く引き上げる

全閉操作
塩水が
侵入するおそれがある場合に行う